［荏原小］学校（4）年　**Ｒ５ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れた単元計画シート**　作成者名【山岡　里枝】

●●●●＝必ず記入　　○○○○＝計画に応じて該当するところを記入

めざす子ども像	やさしく　たくましく　やりぬく　荏原っ子
学年・学期における探究課題	井原市を知る（ふるさと井原の魅力・課題を知る）
単元名	『自分たちにできることを考えよう～学校や地域の環境をよりよくしよう～』（全48時間＝実施時期：４月～１２月）
単元のねらい	「環境に優しい」という視点から校内生活を振り返り，よりよくするために自分たちにできる活動を行う。また，小田川の環境保全に携わる人々と学習を通して，地域の自然を守るために自分たちにできることを考える。

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		小田川ってどんな川？小田川を守るために地域の人は何をしているの？	『小田川学習』（川遊び・観察）パンフレット　お話を聞く。	体験したことや関係者の方の願いを整理して，まとめへつなげる。	新聞作り
引き出したい姿	**いばら愛** （郷土愛と当事者性）	小田川にはどんな生き物がいるの？昔とどう変わったの？	『小田川学習』（川遊び・観察）お話を聞く。	生き物や周りの自然の変化とその理由について考える。	新聞作り　（展示）
	やり抜く力 （向上心と忍耐力）	小田川の環境を守るために，関係者の方はどんなことをしているの？	関係者の方に尋ねる。	関係者の方の苦労や工夫,願いについて考える。	インタビュー 新聞作り　（展示）
	まき込む力 （発信力と協働性）	小田川の環境を守るために，自分たちにはどんなことができるだろう？	『小田川学習』（川遊び・観察）関係者の方に尋ねる。	環境を守るために，自分たちにできることを考える。	新聞作り　（展示）
仕掛け・工夫	**もの**	【小田川】小田川にはどんな生き物がいるの？昔とどう変わったの？	『小田川学習』（川遊び）パンフレット　お話を聞く。	小田川にいる生き物や周りの自然の変化について考える。	新聞作り　（展示）
	ひと	【小田川漁協関係者】なぜ小田川に関係する仕事をしているの？	小田川漁協関係者の方のお話を聞く。	自然を守るための関係者の方の思いや願いについて考える。	インタビュー 新聞作り　（展示）
	しごと（こと）	【小田川漁協】小田川の環境を守るために，どんなことをしているの？	小田川漁協関係者の方のお話を聞く。	自然を守るための関係者の方の思いや願いについて考える。	新聞作り　（展示）
アウトプットの工夫		・作った新聞を校内や、公民館、駅などに掲示したり配布したりして、多くの人に見てもらうようにする。 ・新聞を小田川漁協関係者の方に発表し、アドバイスを聞くことで、学びを深め、身近な環境を大切にしようとする心情を育てる。 ・新聞作成する際、グループで話し合う場を設けることで、学習内容を共有したり、写真を活用し、具体的に内容を伝えることができるようにする。			

◆　他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「くらしをささえる水」

◆　他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

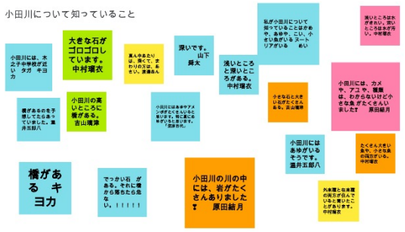
３年生に報告発表
新聞を保護者や地域の方，小田川漁協関係者の方に発表（参観日等）

〈R5〉荏原小学校・4年　単元名『私たちの地域について考えよう』の流れ（探究過程）と活動の実際　　担当【山岡　里枝】

◆単元のねらい「小田川を通して，地域の自然に関心をもち，自分たちにできることを考える。」

課題設定

小田川について知っていることを挙げ，小田川について興味をもつ。



ジャムボードでグループ分けをする。

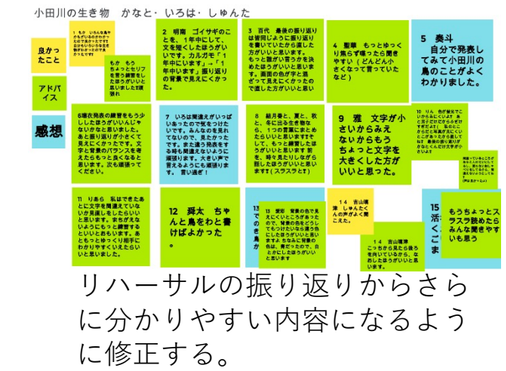
興味をもった小田川について知っていることを挙げ，小田川について興味をもつ。

情報収集

先輩が作った資料・インターネット・図鑑・家族にインタビューなどから情報を集める。

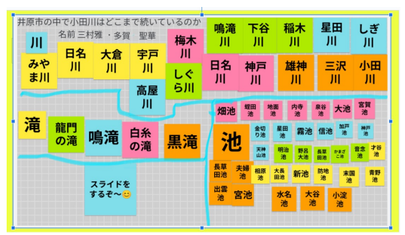
整理・分析

集めた情報をもとに，発信したいことを整理する。



どうすれば分かりやすい表現になるかを考え，スライドにしたり，クイズにしたり，パネルにするなど工夫する。

まとめ・表現



ジャムボードで整理したことを相手を意識したスライドにする。

リハーサルの振り返りからさらに分かりやすい内容になるように修正する。

参観日に発表する。

参観日の発表をふりかえり，改善点をふまえて，高学年にみてもらう。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○子どもたちにとって身近な小田川について学習し，生活とのつながりに気付き，環境を守ることに貢献したいという意識をもつことができた。
△例年は，小田川の生き物を観察するフィールドワークを行っていたが，地域のボランティアさんの高齢化が進み，4月の年間計画とは大幅に変更せざるをえなかった。
☆来年度は，地域を知るということで，北条早雲の地域に残る足跡をめぐるフィールドワークを入れてみるといいと思う。